

## 平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 村上市地域公共交通活性化協議会

対象期間:平成29年10月～平成30年9月

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	村上市まちなか循環バス(小回り循環)	新型車両について、住民に親しみをもってもらえるようなラッピングデザインを選定し、また、障がい者等に配慮した、車内表示機器を設置する。PR活動については、引き続き、時刻表等を配布を行う。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。目標を達成できた。 計画に位置付けた目標 43人/日 実績 45人/日	引き続き、利用促進に向けた時刻表等の配布を行い、車両入れ替えに伴う、PR活動を行う。 また、夏休み期間中における小学生対象のフリー乗車券の利用を継続して行う。
	村上市まちなか循環バス(大回り～小回り循環)				
	村上～馬下～寒川線	学生への周知に加え、沿線住民の方へのPRを強化していく。引き続きJRダイヤとの接続に配慮し利便性の向上に努める。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。目標を達成できた。 計画に位置付けた目標 13人/日 実績 15人/日	引き続き、学割半額制度の周知を図るとともに、新規利用者の開拓に向けた、沿線集落への啓発活動を行う。
	村上市せなみ巡回バス	より多くの観光客、地元住民に利用してもらえるよう、引き続き、時刻表等の全戸配布を行い、利用率上昇が図れるような啓発活動に力を入れる。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	A 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。目標を達成できた。 計画に位置付けた目標 17人/日 実績 21人/日	引き続き、利用促進に向けた時刻表等の配布を行う。 また、夏休み期間中における小学生対象のフリー乗車券の利用を継続して行う。
	村上～塩野町～北中線	学割の効果が高いことから、学生支援を主に考え、JRダイヤとの接続を重視して利便性の向上に努める。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	B 1日あたりの平均利用者数を目標値として設定。夏休み期間中の学生利用の減少により、目標値を下回った。 計画に位置付けた目標 38人/日 実績 36人/日	高校生の通学利用の高い系統なため、学校側と協力し、学割半額制度の周知等、入学前に早めの啓発活動を行う。